

- 凡例
- ゴンドラ
  - リフト
  - 遊ロード(動く歩道)
  - 公衆電話
  - チケットセンター
  - トイレ
  - 上級者コース
  - 中級者コース
  - 初級者コース
  - ポール(要予約)
  - コース
  - アクセスポイント
  - ナイター
  - パトロール
  - AED
  - ジップスカイライド
  - スキースクール
  - レンタル
  - 託児所
  - レストラン
  - 更衣室・スキーロッカー
  - インフォメーション
  - 駐車場
  - ソリゲレンデ  
(・キッズパーク  
・レストハウスやまびこ横)

スキー場区域外(バックカントリー)へアクセスする場合は、毛無山山頂に設置してある「アクセスポイント」又は「」の扉を通過してください。※小雪時には、設置していません。※規制ロープを潜る行為は禁止されています。

滑走可能用具

スキー Ski	スノーボード Snowboard	スノースクート Snowscoot	スノーフィート Snowfeet
スノモト Snowmoto	エアボード Air board	セパレートスノーボード Separate snowboards	スノースケート Snowskate

上記滑走具以外はソリ専用ゲレンデ及びキッズパークでお楽しみください。  
※リッシュコードは必ず装着ください。※表示滑走具以外はリフトに搭乗できません。  
※スノーシューは長坂 Gondラフト、日影 Gondラフト、上ノ平 フォーリフトのみ乗車可能です。

新雪エリア(非圧雪)

自己責任特別区域  
(やまびこ)

※救助を必要とする場合  
救助費用が発生します。

スキー場区域

スキー場区域外

立入禁止区域

※警告:スキー場区域外、立入禁止区域は、  
スキー場パトロールが救助に行くことが  
できません。

スキー場利用規則

- 他人を傷つけたり、おびやかしたりしてはならない。
- 地形・天候・雪質・技能・体調・混雑等の状況に合わせてスピードをコントロールし、いつでも危険を避けるために止まれるよう、滑り方を運ばなければならない。
- 前にいる人の滑走を妨害してはならない。
- 追い越すときは、その人との間隔を十分に保たなければならない。
- 滑り出すとき、合流するとき、斜面を横切るときは、上をよく見て安全を確かめなければならない。
- コースの中で座り込んではいけません。せまい所や上から見通せない所では立ち止まることも慎まなければならない。転んだときは、すばやくコースをあげなければならない。
- 登るとき、歩くとき、止まるときには、コースの端を利用しなければならない。
- スキーやボードには、流れ止めをつけないでください。
- 指示・標識・場内放送等の指示を守り、スキー・パトロール・スキー場係員の指示に従わなければならない。
- 事故にあったときは救助活動と通報に協力し、当事者・目撃者を問わず身元を明らかにしなければならない。

■一般財団法人 日本スキー連盟  
■公益財団法人 全日本スキー連盟  
■公益財団法人 日本プロスキー教師協会  
■日本スノーボード協会

リフト利用時の注意

あなたの行動は、あなたと他の利用者全員の安全に関わっています。リフトの利用にあたっては、責任と義務がともないます。次のことを守ってください。

<乗車時>

- リフト利用に不安な方は、申し出て下さい。
- 「のりば」の表示位置でスキー、ボードを正しく前に向けて待機してください。
- 乗りこえたら、直ぐにリフトから離れてください。
- スキーヤーは、ストックが隣の人の迷惑にならないように注意してください。
- リュック等はヒザにのせ、衣服等のヒモにも注意してください。
- ボーダーは、流れ止めをつけ、ハイバックをたたくでください。

<乗車中>

- セフティーバーを下ろし、深く腰をかけてください。
- 乗っている時は、次のことを行わないでください。
  - (1) イスを揺らすこと。
  - (2) イスから飛び降りること。
  - (3) イスの上でふざけたり、後ろを向いたりすること。
  - (4) ストック等で柱などにさわること。
- リフトが止まっても飛び降りないでください。

<降車時>

- 「のりば」が近づいたら降りる準備をし、降りた後はまっすぐに進んでください。